

# サンシャインだより



♪ 快晴の空の下、茶摘みの歌もとびだした ♪ (5ページに関連記事)

## 社会福祉法人 サンシャイン福祉振興会

特別養護老人ホームサンシャイン美濃白川(本部)  
サンシャイン美濃白川デイサービスセンター  
サンシャイン美濃白川居宅介護支援事業所

〒509-1106 岐阜県加茂郡白川町坂ノ東5500番地1

TEL(0574)75-2340 FAX(0574)75-2888

地域密着型特別養護老人ホームあいらんど美濃白川

〒509-1105 岐阜県加茂郡白川町河岐2番地4

TEL(0574)74-1171 FAX(0574)74-1172

グループホームかわばた荘

〒509-1106 岐阜県加茂郡白川町坂ノ東5467番地1

TEL(0574)75-2699 FAX(0574)75-2566

佐見デイサービスセンターせせらぎ園

〒509-1222 岐阜県加茂郡白川町下佐見2510番地2

TEL(0574)76-0033 FAX(0574)76-2177



## 平成 29 年度 事業報告・決算報告

6月21日、社会福祉法人サンシャイン福祉振興会の評議員会が開催され、平成29年度の決算が承認されましたので事業報告と合わせてお知らせいたします。

## 《平成29年度事業報告・決算報告にあたり》

平成29年度決算は、前年度に続き当期活動増減差額がマイナスとなりました。その額は▲10,183,139円で、前年度の▲16,579,389円よりは改善されたものの、2年連続のマイナス決算となりました。

そのなかで、介護保険事業の収益は、法人全体で649,834,067円となり、前年度より23,701,023円増えました。収益増を事業別にみると、特養サンシャイン4,918,748円、地域密着型特養サンシャイン▲2,341,580円、ショートステイ14,315,001円、サンシャインデイサービス▲1,418,898円、居宅介護支援1,318,420円、地域密着型特養あいらんど2,049,290円、グループホームかわばた荘2,407,040円、佐見デイサービス2,453,002円でした。

特養サンシャイン、グループホームかわばた荘については、前年度より入院日数等が減り稼働率が上がったことが、収益増の要因となっています(サンシャイン93.7%→96.8%かわばた97.8%→99.1%)。地域密着型特養あいらんどについては、重度の入所者が多かったこと。ショートステイは、隣市の特養が職員不足から利用者の受け入れを制限したため、一時的に利用者が増えたこと。居宅介護支援については、地域包括支援センターの委託を受けて「要支援」のケアプランを作成したこと。佐見デイサービスは、利用者が若干伸びたこと(1日当り11.97人→12.75人)が、それぞれの収益増につながっています。

収益が減少した地域密着型特養サンシャインについては、入院が前年度の約3倍に上ったこと、及び重度者の割合が低くなり「日常生活継続支援加算」が算定できなかったことが考えられます。サンシャインデイサービスについては、利用者がほぼ横ばいであったものの(1日当り14.96人→14.90人)、介護福祉士の割合が50%を切り、一段低い「サービス提供体制加算1(ロ)」に切り替えて収益減となりました。

一方、経費では、前年度と比較して人件費が7,985,991円、事業費が5,068,413円、事務費が724,836円それぞれ増え、介護保険事業で得た収益を圧迫しています。

経費については、削減に努めてきましたが、さらに検討を行い、一層の削減を図りたいと考えています。

また、現在通常規模で営業しているサンシャインデイサービスを、来年度以降、地域密着型サービスに転換し、経営改善を進める考えです。

## 資金収支計算書 (自)平成29年4月1日 (至)平成30年3月31日

(単位：円)

勘定科目		予算 (A)	決算 (B)	差異 (A)-(B)
事業活動による収支	収入			
	介護保険事業収入	664,820,000	649,834,067	14,985,933
	障害福祉サービス等事業収入	2,540,000	2,038,320	501,680
	その他の事業収入	9,400,000	9,173,850	226,150
	経常経費補助金収入	378,000	356,720	21,280
	経常経費寄附金収入	3,600,000	2,942,543	657,457
	受取利息配当金収入	1,640,000	1,593,138	46,862
	その他の収入	4,940,000	4,074,385	865,615
	事業活動収入計 (1)	687,318,000	670,013,023	17,304,977
	支出			
人件費支出	512,879,000	500,407,212	12,471,788	
事業費支出	110,291,000	97,928,916	12,362,084	
事務費支出	68,169,000	47,559,781	20,609,219	
利用者負担軽減額	240,000	88,640	151,360	
支払利息支出	597,000	596,346	654	
その他の支出	2,230,000	1,750,319	479,681	
事業活動支出計 (2)	694,406,000	648,331,214	46,074,786	
事業活動資金収支差額 (3) = (1) - (2)	▲7,088,000	21,681,809	▲28,769,809	
施設整備等による収支	収入			
	施設整備等補助金収入	5,600,000	5,600,000	0
	施設整備等収入計 (4)	5,600,000	5,600,000	0
	支出			
設備資金借入金元金償還支出	3,372,000	3,372,000	0	
固定資産取得支出	27,350,000	24,365,789	2,984,211	
施設整備等支出計 (5)	30,722,000	27,737,789	2,984,211	
施設整備等資金収支差額 (6) = (4) - (5)	▲25,122,000	▲22,137,789	▲2,984,211	
その他の活動による収支	収入			
	長期貸付金回収収入	720,000	720,000	0
	積立資産取崩収入	3,810,000	1,386,044	2,423,956
	その他の活動収入計 (7)	4,530,000	2,106,044	2,423,956
	支出			
	長期貸付金支出	0	0	0
	積立資産支出	5,980,000	4,855,665	1,124,335
	その他の活動による支出	30,000	9,080	20,920
その他の活動支出計 (8)	6,010,000	4,864,745	1,145,255	
その他の活動資金収支差額 (9) = (7) - (8)	▲1,480,000	▲2,758,701	1,278,701	
予備費支出 (10)	6,410,000	-	6,410,000	
当期資金収支差額合計 (11) = (3) + (6) + (9) - (10)	▲40,100,000	▲3,214,681	▲36,885,319	
前期末支払資金残高 (12)	459,770,905	459,770,905	0	
当期末支払資金残高 (11) + (12)	419,670,905	456,556,224	▲36,885,319	

事業活動計算書 (自) 平成29年4月1日 (至) 平成30年3月31日

(単位：円)

勘定科目		当年度決算 (A)	前年度算額 (B)	増減 (A)-(B)
サービス活動増減の部	収益			
	介護保険事業収益	649,834,067	626,133,044	23,701,023
	障害福祉サービス等事業収益	2,038,320	2,452,610	▲414,290
	その他の事業収益	9,173,850	9,816,050	▲642,200
	経常経費補助金収益	356,720	406,280	▲49,560
	経常経費寄附金収益	2,942,543	4,302,000	▲1,359,457
	サービス活動収益計 (1)	664,345,500	643,109,984	21,235,516
	費用			
	人件費	504,386,063	496,400,072	7,985,991
	事業費	97,954,026	92,885,613	5,068,413
事務費	47,559,781	46,834,945	724,836	
利用者負担軽減額	88,640	125,760	▲37,120	
減価償却費	75,603,018	74,658,032	944,986	
国庫補助金等特別積立金取崩額	▲48,469,354	▲48,547,641	78,287	
徴収不能額	0	1,400	▲1,400	
サービス活動費用計 (2)	677,122,174	662,358,181	14,763,993	
サービス活動増減差額 (3)=(1)-(2)	▲12,776,674	▲19,248,197	6,471,523	
サービス活動外増減の部	収益			
	受取利息配当金収益	1,593,138	1,598,860	▲5,722
	その他のサービス活動外収益	4,074,385	4,116,571	▲42,186
	サービス活動外収益計 (4)	5,667,523	5,715,431	▲47,908
	費用			
	支払利息	596,346	618,265	▲21,919
その他のサービス活動外費用	2,477,640	2,428,354	49,286	
サービス活動外費用計 (5)	3,073,986	3,046,619	27,367	
サービス活動外増減差額 (6)=(4)-(5)	2,593,537	2,668,812	▲75,275	
経常増減差額 (7)=(3)+(6)	▲10,183,137	▲16,579,385	6,396,248	
特別増減の部	収益			
	施設整備等補助金収益	5,600,000	30,000,000	▲24,400,000
	特別収益計 (8)	5,600,000	30,000,000	▲24,400,000
	費用			
	固定資産売却損・処分損	2	4	▲2
国庫補助金等特別積立金積立額	5,600,000	30,000,000	▲24,400,000	
特別費用計 (9)	5,600,002	30,000,004	▲24,400,002	
特別増減差額 (10)=(8)-(9)	▲2	▲4	2	
当期活動増減差額 (11)=(7)+(10)	▲10,183,139	▲16,579,389	6,396,250	
増減差額の部	繰越活動増減差額 (12)	545,034,101	561,613,490	▲16,579,389
	当期末繰越活動増減差額 (13)=(11)+(12)	534,850,962	545,034,101	▲10,183,139
	基本金取崩額 (14)	0	0	0
	その他の積立金取崩額 (15)	0	0	0
	その他の積立金積立額 (16)	0	0	0
次期繰越活動増減差額 (17)=(13)+(14)+(15)-(16)	534,850,962	545,034,101	▲10,183,139	

貸借対照表

平成30年3月31日現在

(単位：円)

資産の部				負債の部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	500,471,985	502,216,800	▲1,744,815	流動負債	72,327,443	69,311,418	3,016,025
現金預金	402,246,607	406,636,248	▲4,389,641	事業未払金	43,915,761	41,725,895	2,189,866
事業未収金	94,907,276	93,706,993	1,200,283	1年以内返済予定設備資金借入金	3,372,000	3,372,000	0
未収金	379,669	123,381	256,288	賞与引当金	25,039,682	24,213,523	826,159
前払金	0	1,030,178	▲1,030,178				
前払費用	2,938,433	0	2,938,433				
1年以内回収予定長期貸付金	0	720,000	▲720,000				
固定資産	1,741,524,233	1,790,035,194	▲48,510,961	固定負債	117,054,955	117,274,263	▲219,308
基本財産	1,370,821,203	1,415,650,853	▲44,829,650	設備資金借入金	86,548,000	89,920,000	▲3,372,000
土地	400,873,314	400,873,314	0	退職給付引当金	30,506,955	27,354,263	3,152,692
建物	969,947,889	1,014,777,539	▲44,829,650	負債の部合計	189,382,398	186,585,681	2,796,717
その他の固定資産	370,703,030	374,384,341	▲3,681,311	純資産の部			
土地	5,363,320	5,363,320	0	基本金	120,044,120	120,044,120	0
構築物	22,256,363	25,876,052	▲3,619,689	国庫補助金等特別積立金	1,127,718,738	1,170,588,092	▲42,869,354
車輛運搬具	9,747,471	11,375,893	▲1,628,422	減価償却積立金	202,500,000	202,500,000	0
器具及び備品	21,275,703	21,235,810	39,893	特別修繕積立金	67,500,000	67,500,000	0
権利	1,622,406	1,793,610	▲171,204	次期繰越活動増減差額	534,850,962	545,034,101	▲10,183,139
ソフトウェア	2,283,842	3,312,001	▲1,028,159	(うち当期活動増減差額)	▲10,183,139	▲16,579,389	6,396,250
退職給付引当資産	37,965,515	35,223,215	2,742,300				
減価償却積立資産	202,500,000	202,500,000	0				
特別修繕積立資産	67,500,000	67,500,000	0				
その他の固定資産	188,410	204,440	▲16,030	純資産の部合計	2,052,613,820	2,105,666,313	▲53,052,493
資産の部合計	2,241,996,218	2,292,251,994	▲50,255,776	負債及び純資産の部合計	2,241,996,218	2,292,251,994	▲50,255,776

# 研修室・リハビリ室建設の寄附金募集

あいらんど美濃白川

平素は社会福祉法人サンシャイン福祉振興会に、ご支援・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

社会福祉法人サンシャイン福祉振興会の事業は、福祉の町づくりをめざし平成8年に特別養護老人ホームサンシャイン美濃白川(デイサービスセンター)を開設したことに始まります。

その後、佐見デイサービスセンターせせらぎ園の指定管理、グループホームかわばた荘の建設、地域密着型特別養護老人ホームあいらんど美濃白川の建設を進めて参りました。

そしていま、地域密着型特別養護老人ホームあいらんど美濃白川に、研修室及びリハビリ室の増築を計画しています。

研修室には社会福祉関係の書籍を収蔵し、当法人の役員及び白川町・東白川村の福祉関係者が学習できるような環境を整備する考えです。あわせて入所者向け図書コーナーも設けます。

また、リハビリ室ではアートセラピー(芸術療法)などを行い、入所者・利用者の作品や寄贈絵画を展示するとともに、認知症カフェなど地域の人たちの交流の場にもご利用いただく計画です。

社会福祉法人サンシャイン福祉振興会は、主に介護報酬で経営をしておりますが、その介護報酬のたび重なる引下げによって、経営環境は年々厳しさを増しております。

安定的経営と事業の発展のために、多くの法人・個人からのご寄附を募集します。ぜひともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

社会福祉法人サンシャイン福祉振興会は、平成27年6月8日に税額控除対象法人となり、当法人への寄附は、以下のように税制上の優遇措置の対象となります。

## 個人によるご寄附

所得控除と税額控除のうち、有利な方を選べます。税額控除は、税額から直接控除額を差し引きしますので、所得控除と比べて減税効果が大きく、寄附者にとって大きなメリットになります。

## 法人によるご寄附

一般寄附金の損金算入限度額とは別に、公益増進法人等の特別損金算入限

度額の範囲内で損金として算入できます。

※寄付金のお申込みは

郵便局

記号番号

00890181130379

口座名義

社会福祉法人

サンシャイン福祉振興会

当法人ホームページからPDF振込用紙(表裏)を印刷するか、又は当法人から振込用紙を取り寄せるかして、前記の口座に郵便局から振込んでください。手数料はかかりません。

※お問い合わせ

T50911106

岐阜県加茂郡白川町

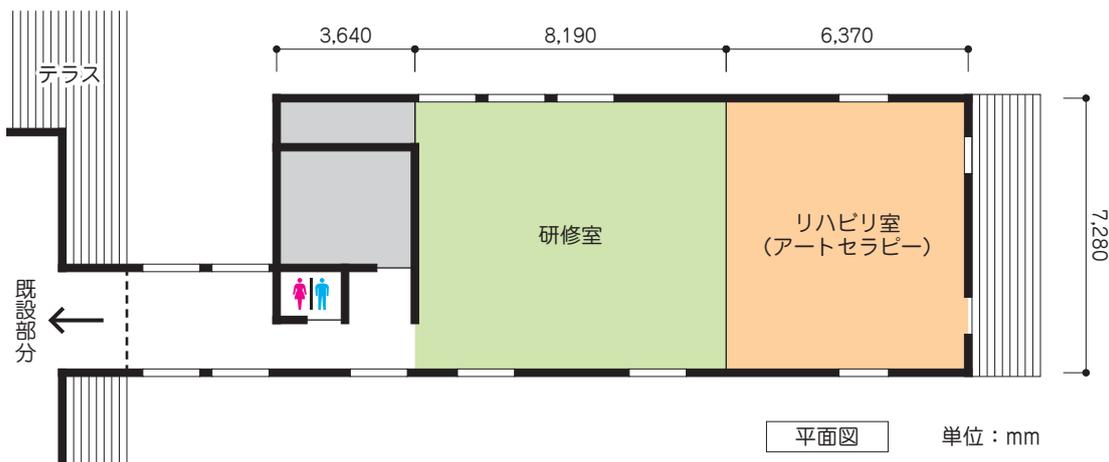
坂ノ東55001

社会福祉法人

サンシャイン福祉振興会

電話(0574)7512340

FAX(0574)7512888





グループホームかわばた荘開設以来初めてのボランティアで、近所の寿司屋「鮎たくみ」さんと川辺町にお店がある「浅五郎の小田巻や鈴木酒店」さんがそれぞれ振る舞ってくださいました。

**お腹いっぱいでもう食べられない方続出！ 鮎たくみさん**

鮎たくみさんは入居者の方にも人気で、お誕生日にお店へ食事に出かけられる方もあります。以前にサンシャイン美濃白川でごちそうしてくださったことがある店主の高羽さんから提案があり、かわばた荘でも出張お寿司屋さんを実現しました。



▲思わず箸がすすみます

鮎たくみさんが来たこの日はみなさんいつも以上にさわさわさわ落ちて着かない様子でした。最初は目の前で握られるお寿司に緊張して遠慮がちの様子

鈴木酒店さんは店内で小田巻を焼いておられ、いつも売り切れ必至の小田巻屋さんです。きっかけは「小田巻を施設内で楽し

**今も昔も変わらず愛される おやつ小田巻の焼きたてを堪能！ 浅五郎の小田巻や鈴木酒店さん**

でしたが、あまりのおいしさにペロりとたいらげてお代わりを注文される方が続出。この日は特別ゲストとして二人のちびっこ従業員がお手伝いに参加して、みなさんから注文をとったり寿司を運んだりと奮闘してくれました。



▲ごちそうに笑顔いっぱいです

「こんな目の前で握ってもらえて幸せやなあ」「本当はもう少し食べたいけど食べすぎやよねえ」と終始楽しい昼食となりました。

んでみませんか」という一枚の葉書でした。それによると、近隣の施設等に出張して焼きたての小田巻を提供されているとの事。目の前で焼いてもらった小田巻をおやつにしたら昔を懐かしんで楽しい時間になるのではと思いきい越したいくことにしました。

当日は天気が良く、かわばた荘の駐車場に屋台を設置しておやつタイムを楽しみました。

目の前で焼かれていく小田巻を見て「ええなあ。昔は家でも焼いとったなあ」と思い出話をしながら待つこと数分。ふわりと甘い香りがしてきてたっぷりのあんこが入った小田巻が完成しました。

最初 は遠慮して小田巻に手をつけなかった入居者のみなさんも「焼きたてをどうぞ」と言われると「いいかね」「おいしい。まったくおいしいわ」とあつという間に食べてしまわれました。

これからもかわばた荘では入居者のみなさんに楽しんでいただけるよう、新しい取り組みをしていきたいです。



▲焼きたてに舌つづみ

▼青空の下で茶摘み

ました。地域の方のご厚意でたくさんお茶を摘むことができました。ご夫婦で参加された方もあり、仲睦まじい様子が見られました。

摘んだお茶は施設に持ち帰り、ホットプレートで炒って手揉みを行います。さすがは昔取った杵柄。みなさん慣れた手つきで次々と揉みあげていかれます。陰干しをしたお茶は湯船に入れ、お茶風呂を楽しみました。浴室には新茶の良い香りが漂っていました。



▲茶揉みで話がはずみます



車に乗ると「どこへ行くの？」と弾んだ声が聞こえます。「お茶摘みに行くよ」と答えると、すぐに「夏も近づくと歌が出ました。みなさん一緒に歌いながら広島地区まで向かい



## 玄関を彩る花



▲水やりをしてくださっています

秋から春にかけて咲くパンジー、暑い夏のサルビアなどサンシャイン玄関付近をカラフルに彩ってくれる花々。色鮮やかな花たちに出迎えられ、サンシャインを利用される方や面会に来られるご家族、働く職員も癒してくれます。

この花壇やプランターを管理してくださるのは、老人クラブ千歳会の大利の方々です。みなさんで花植えをされ、当番で草取りや水やりを行ってくださいます。

いつもサンシャインに想いを寄せてくださりありがとうございます。

## サンシャイン周辺の清掃



▲歩道を掃除しました

当法人は、地域のみなさまに支えられ活動しています。毎年4月には大利地区で行われる清掃作業に合わせ、施設周辺の清掃を職員で行っています。温かくなり、緑が美しい季節になり雑草にも勢いが増してきます。国道沿いの歩道やサンシャイン周辺も例外ではありません。当日は天候もよく、散歩する方達ともあいさつを交わすさわやかな時間でした。

サンシャイン周辺一画の草取りやゴミ拾いでしたが、きれいになると気持ちがいいと感じました。

## 音楽健康指導士がいます！



▲リズムにのって体操

当法人の三つの事業所には通信カラオケ機があります。プログラムには、カラオケで使用する曲はもちろん、懐かしい映像やゲーム、体操など楽しく健康になる内容が多く入っています。

「うたと音楽」の持つ力は楽しく継続できることです。仲間と一緒に歌うことで心身の元気を取り戻し、音やリズムに合わせ楽に身体を動かせるようになります。また、リズムに合わせて体を動かす前に、その理由や効果を説明することで意欲的に身体を動かすことができます。

この度3名の職員が音楽健康指導士の資格をとりました。今後とも入居者・利用者の方の心と身体の健康をサポートしていきます。

## 実務者研修会場に サンシャイン美濃白川

平成28年度から介護福祉士国家試験の受験資格として、実務経験3年以上に加えて実務研修が必要です。

この研修は、介護の考え方や介護技術の見直し、新たな気づきなど介護の質の向上につながります。

増々需要が高まる介護職の人材を育成するための研修を、今年度はサンシャイン美濃白川で受講できるため多くの方が学ばれています。

### 夏祭りのお知らせ

日時：8月3日(金) 午後6時30分～

場所：サンシャイン美濃白川駐車場

みなさんお誘い合わせてお越しください。

社会福祉  
社会保障  
は、いま  
15

2040年問題

社会保障給付費が2040年度推計で、今より約1.6倍の190兆円となり、負担が膨らむと政府が公表（経済財政諮問会議）しました。

社会保障費といっても、2018年度比で、年金1.3倍、医療1.7倍、介護2.4倍と、項目によって異なっています。最も伸びるのが介護です。この推計は、経済成長率を年2%前後、病床数の削減と在宅ケアを進めることが前提で、「財政ありき」の計画といえそうです。

わが国の人口構造は、2040年代に団塊世代が90歳代となり、団塊ジュニア世代も70代になります。この世代の割合が高くなる一方で、15〜64歳が減少する「人口減少社会」を迎えます。といっても、この傾向は都市部を中心にした全国平均的な動向であって、

白川町などの中山間地域では、2040年を待つまでもなく、すでに人口減、高齢化のピークを迎えており、いままさにそこを突き進んでいる状況です。

介護費が膨らみ、負担増となる危機要因があるにもかかわらず、政府は本格的な政策論議を先送りしています。現行システムは、負担の大半を若年層に依存し、利用者負担を次々に増やす、生活の自己責任路線です。そのうえ、国によって年金水準を自動的に抑えるマクロ経済スライドが導入されており、たび重なる負担増に悲鳴が聞こえてきます。

介護保険制度創設時の「介護の社会化」は空洞化し、変質、後退の一途です。保険料、利用料の二重の負担増に加え、利用の抑制が図られ、特別養護老人ホー

ムへは、原則「要介護3」以上でないとは入居できなくなりましした。また、介護保険の通所サービスから「要支援」が外され、市町村の総合事業に移されました。さらには介護報酬のたび重なる切り下げの結果、介護保険の事業所では人件費相当分が増えず、人材の育成と確保が難しくなっています。

当法人は、職員の充足をはかり、ケアの質を高めるために、独自の奨学金貸付制度をつくりましした。資格取得を支援するとともに、返還免除の仕組みを作り、研修に力を入れています。

当法人の人件費比率は相対的に高く、厳しい経営が続いています。しかし、職員の働きやすさを改善することが、福祉のまちづくりに取り組む社会福祉法人の姿勢であるという共通認識を持ち、事業を進めているところです。

（社会福祉法人  
サンシャイン福祉振興会理事長・  
聖隷クリストファー大学  
大学院教授）

大友信勝

文芸コーナー



夏の空老婆の願ひ若がえり  
夏空会いたき人ともう一度  
すいか畑すぐに見つける鳥たち  
茄子キウリ漬けこむ嫁の味となる  
スイカ割上手くできずにグッシャグシャ  
孫つれてやっと渡りし夏の川  
友釣りも待ちわびるかな足さそる  
日暮れて友達を待つ螢がり  
大好きな縞模様なる種とばす  
目で追うや飛びかう螢さみしげに  
バイキング囲みて食ぶる子沢山  
ひいばあが転ぶからとて手を引いて

はりゑ  
米子  
いね  
柳子  
佐津江  
康子  
惣平  
貫一  
とよ子  
静子  
千枝  
秀子

三才ひ孫の心優しき

